

読書 - reading -



作家、テレビ司会など幅広い分野で活躍する阿川佐和子さん。軽妙なタッチの小説や飾り気のないエッセーで知られるが、本作では「親族・同族」と「同胞・兄弟姉妹」を意味する二つの古語をタイトルとし、人間の生と死を多面的に描いた。「私の書」小説には、人間が生きて存在することの苦しみや悲しみが描かれていない、と指摘されたことがある。それはおもしろい。今回は、今回に光を当て、大段に構えずに書いてみようと思いましたが、「物語はまさに」「うから はらから」の一角が巻き起こす、ドタバタコメディあり、予

「うから はらから」阿川佐和子さん

想もつかぬロマンスありの、波乱に満ちた人間ドラマ。大手出版社の編集者の未来を中心人物に、元夫の父、元警察官で未来のシゲル、シゲルの奔放な再婚相手マリイ、マリイの息子で10歳にして大人びた倫士。章ごとに登場人物がリレーのように語り部を引き継ぎ、勝ち気、弱気、短気、小心、優柔不断と、各人物の性格と実像を複数の視点から立体的に浮かび上がらせた。「一章目を書き終えたとき、前章の終わりに登場した人が次の語り部を受け継ぐ」とし「うから はらから」形式にする。語り部をマリイ、ゴウラウ

人間の生と死 多面的に

「うから はらから」阿川佐和子さん。本書は著者が俳句研究に連載した「一句萬象」の2002年1月号から04年11月号までをまとめたもの。中に見えてきたことがある。「私は落語の世界に出てくるような、駄目人間、書くことが好き。駄目だけれど愛すべき存在である人間を描きたい。それが日本人の愛らしさだと思つて」

「バター」 死の行進

マイケル・ノーマン、エリザベス・M・ノーマン著、浅岡政子、中島由華訳。アジア・太平洋戦争の初期、破竹の進軍を経て東南アジア各地を占領した日本軍は、米領フィリピン(比)ではバター半島に立てこもった米比軍を相手に苦戦した。「バター」死の行進とは、1942年4月、万策尽きて降伏した米比軍将兵が、炎天下に徒歩で約1000の苛酷な移動を強いられ、マリヤなどによる戦死、日本兵による激しい捕虜虐待や集団処刑の犠牲になった悲劇のことである。当時の司令官であった本間雅晴中将は戦後、マニラ軍事法廷で残虐行為の責任を問われて銃殺刑に処せられた。日本軍関係者の中では、想定外に大量の米比軍降参者の扱いに苦慮したことは認める一方、残虐行為の告発には「誇張だ」という反発もある。「死の行進」の現場を生きた米比軍関係者たちと認識が大きく隔たっている。戦争では、往々として自分だけの現場だけが「バタ」真実であり、その経験が凄惨であればあるほど、他者と共有することは難しい。戦後65年を経てなお、和解の達成に困難が伴う一因がここにある。

だからこそ、10年の歳月をかけて米比で400人以上にインタビュー取材



河出書房新社・6900円

最近「世界文学」というジャンルが創作者の言葉が文学論議の中でよく引き合いに出されるが、その定義からすると現代日本文学において初めて世界文学作家となりえたのは、安部公房ではないか。本書は、作家の一人娘による評伝である。伝記の部分と、主に言語論を軸にした作家・作品・文壇論、公房を知る25人に対するインタビュー、そして豊富な写真資料から成る。著者の言葉は長い思考を経たものだろう。結果的に、硬質で、貴重なエピソードが淡々とつづられている。満州からの引き揚げ、画家との結婚、趣味だった車やシンセサイザーのこと、石川淳、三島由紀夫との交際、インタビューでは、大江健三郎の口から、ガルシア・マルケスやル・クレゾが公房をどれだけ評価していたかが語られ、その一方、書き損じの原稿が丸められた後どうなったかといった日常的な逸話も、ドナルド・キーンによって明かされたりする。ある時、公房は娘に尋ねたという「ねり、手って何か特別な感じがしないか」「たどれば道に、手が落ちていくとさうだろ。そうしたら、とてもびびりするじゃないか」。それなら足音が落ちていたってびびりするし、と娘は「非科学的な」父の話にか

「安部公房伝」

「安部公房伝」安部 ねり著。本書は、著者が俳句研究に連載した「一句萬象」の2002年1月号から04年11月号までをまとめたもの。中に見えてきたことがある。「私は落語の世界に出てくるような、駄目人間、書くことが好き。駄目だけれど愛すべき存在である人間を描きたい。それが日本人の愛らしさだと思つて」

娘による「父」の読み直し

「安部公房伝」安部 ねり著。本書は、著者が俳句研究に連載した「一句萬象」の2002年1月号から04年11月号までをまとめたもの。中に見えてきたことがある。「私は落語の世界に出てくるような、駄目人間、書くことが好き。駄目だけれど愛すべき存在である人間を描きたい。それが日本人の愛らしさだと思つて」

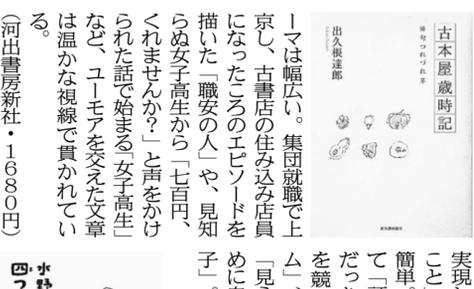


新潮社・6900円

「あべ・ねり」1954年東京都生まれ、医師。「安部公房全集」の編集に携わる。

「古本屋敷時記」

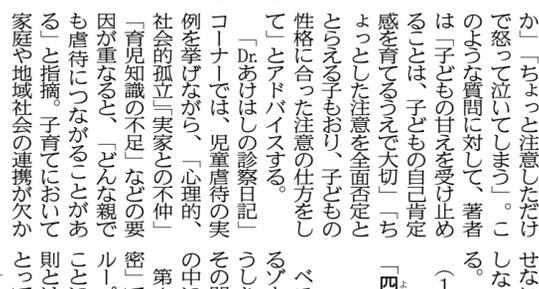
古本屋敷時記 出久根達郎著。本書は、著者が俳句研究に連載した「一句萬象」の2002年1月号から04年11月号までをまとめたもの。中に見えてきたことがある。「私は落語の世界に出てくるような、駄目人間、書くことが好き。駄目だけれど愛すべき存在である人間を描きたい。それが日本人の愛らしさだと思つて」



河出書房新社・1680円

「四つ話のクローバー」

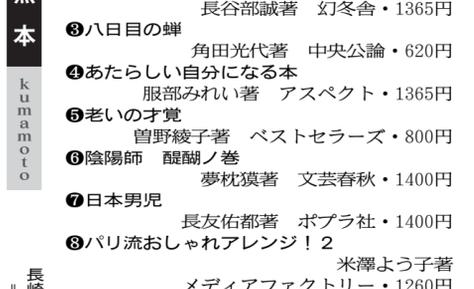
水野敬也著。本書は、著者が俳句研究に連載した「一句萬象」の2002年1月号から04年11月号までをまとめたもの。中に見えてきたことがある。「私は落語の世界に出てくるような、駄目人間、書くことが好き。駄目だけれど愛すべき存在である人間を描きたい。それが日本人の愛らしさだと思つて」



河出書房新社・1680円

「君は隅田川に消えたのか」

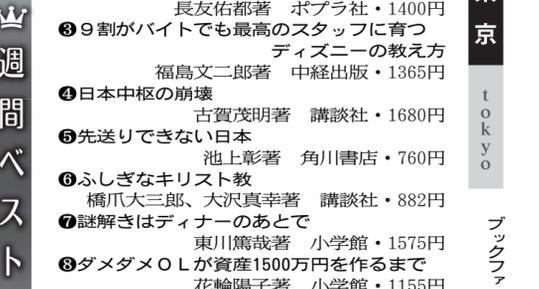
駒村 吉重著。本書は、格好の道先案内人として、この謎へと読者を導いてくれる。小野の人物造形には不満が残るが、同じ文筆業に携わる洲之内に関しては、共感を秘めた洞察が光る。濃密な取材対象となった大谷は、口角泡を飛ばす様子があはれさまで、活写されている。謎は解明されたのか。結論を書いてもいいが、ここでは謎を解くことになろう。



講談社・2415円

傑作残した版画家の「謎」

評・水沢 勉(神奈川県立近代美術館館長)。版画家の小野重忠に始まり、美術評論家の洲之内徹、ギャラリスト大谷芳久、そして多くの学芸員が、その謎に取りつかれてきた。探索が進むにつれ、謎は謎を呼び、複雑な迷路の中に藤牧はいままたずんでいる。昨年出版された大谷の大著「藤牧義夫 真偽」は、それ自身が巨大な謎の書であり、な



講談社・2415円

「熊本」

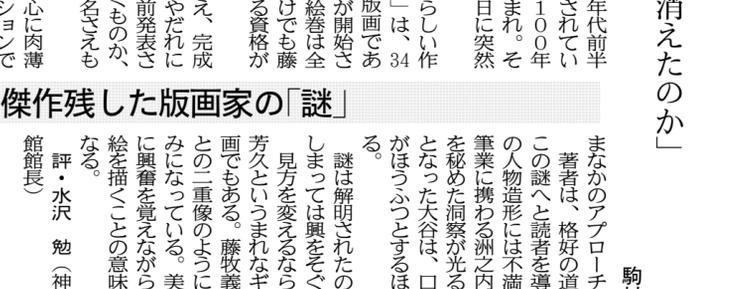
熊本カフエ 散歩 三角由美子著 書肆侃侃房・1365円



書肆侃侃房・1365円

「原発のウソ」

小出裕章著 扶桑社・777円



扶桑社・777円

週間ベスト10

- 1 熊本カフエ 散歩 三角由美子著 書肆侃侃房・1365円
2 心を整える。長谷部誠著 幻冬舎・1365円
3 八日目の蝉 角田光代著 中央公論・620円
4 あたらしい自分になる本 服部みれい著 アスペクト・1365円
5 老いの才覚 曾野綾子著 ベストセラーズ・800円
6 陰陽師 醍醐ノ巻 夢枕獯著 文芸春秋・1400円
7 日本男児 長友佑都著 ポプラ社・1400円
8 パリ流おしゃれアレンジ! 2 米澤よう子著 メディアファクトリー・1260円
9 PRAY FOR JAPAN prayforjapan.jp編 講談社・1000円
10 さだのはなし さだまさし著 自由国民社・1500円

東京 tokyo ブックファースト新宿店 8日調べ

「君は隅田川に消えたのか」

駒村 吉重著。本書は、格好の道先案内人として、この謎へと読者を導いてくれる。小野の人物造形には不満が残るが、同じ文筆業に携わる洲之内に関しては、共感を秘めた洞察が光る。濃密な取材対象となった大谷は、口角泡を飛ばす様子があはれさまで、活写されている。謎は解明されたのか。結論を書いてもいいが、ここでは謎を解くことになろう。

過払い金返還請求! 秘密厳守 費用分割可 着手金不要 土・日・夜間相談可. 地域密着宣言! 熊本事務所 交通センターより 徒歩1分! 私達が責任をもって担当させていただきます. 0120-83-0001

夏を制するものは受験を制す。プロ家庭教師と挑む「決戦の夏」. プロ家庭教師からあなたにアドバイス. 0120-598-123

安心と信頼の実績 株式会社 さくらピアノ. ピアノ 高価買取. 20~40年前のピアノ大歓迎!! 引取運賃無料 査定無料. 0120-064-837